

JAL被解雇者労働組合（JAL 争議団）

info@jhu-wing.main.jp

<https://jhu-wing.main.jp/>

JAL 争議

愛媛争議団を支える会 10周年

勝利解決まで

闘いを進めます！



11月3日、「愛媛争議団を支える会」は結成から10年を迎え、節目の集会を開きました。70名が参加。場所は教職員6千名が出資し1937年に建立された国登録文化財の愛媛県教育会館です。

正面に掲げられた嘉納治五郎直筆の扁額「擇道竭力」（たくだうけつりょく）は、「進むべき道を選び全力を尽くす」という意味で、正にJHUの闘いそのものです。

2010年12月31日、必要がなかったJALの整理解雇が強行され、まもなく丸12年になります。愛媛支える会は2012年11月27日に結成され10周年を迎えました。愛媛在住の2名の争議団員の他、今回は久しぶりに東京から被解雇者労働組合（JHU）山口委員長が駆け付け、集会に参加しました。

集会では、2021年4月に発足したJHUの闘いを記録したDVDを視聴した後、山口委員長が解雇争議を巡る基調報告を行いました。その後、質疑応答が行われました。



7月29日、乗員組合・キャビンクルーユニオンがJALの「業務委託」提案に合意し争議を終結したため、この集会は奇しくも統一要求の実現をめざし争議を継続するJHUの決起集会となり、3人の組合員から決意表明が行われました。また、これを機に「愛媛原告を支える会」は、名称を「愛媛争議団を支える会」に改めることが発表され、「引き続き、愛媛争議団2名を支え勝利解決へ向け尽力する」との重見事務局長の力強い発言で締め括られました。

